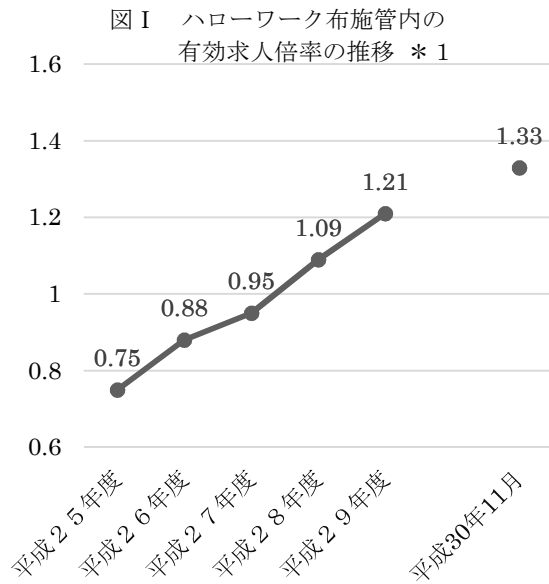


市内企業の人材確保と若者・女性の就労支援について(案)

東大阪市中企業振興会議

労働雇用部門会議

## 1. 労働雇用部門会議の設置について



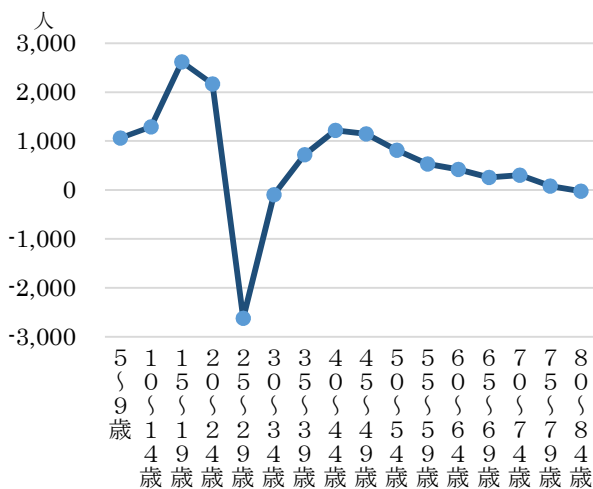
ハローワーク布施管内の有効求人倍率は、平成28年度以降、1倍を超え、直近、平成30年11月は1.33倍\*1となっている。景気回復で企業の採用意欲が旺盛となり、管内の雇用情勢は回復傾向が続いていることが伺える。特に製造業に従事する「生産工程の職業」の有効求人倍率は同年11月で2.76倍\*1と2倍を大きく超え、求人数が求職者数を大きく上回っている。このような状況で、求職者の売り手市場が続いており、特に市内製造業では人手不足が深刻な状況となっている。このことから市内のモノづくり企業を

始めとする市内企業の人材確保と求職者の就労支援の観点から、現在の施策の課題や今後の施策のあり方を検討するため、労働雇用部門会議が設置された。

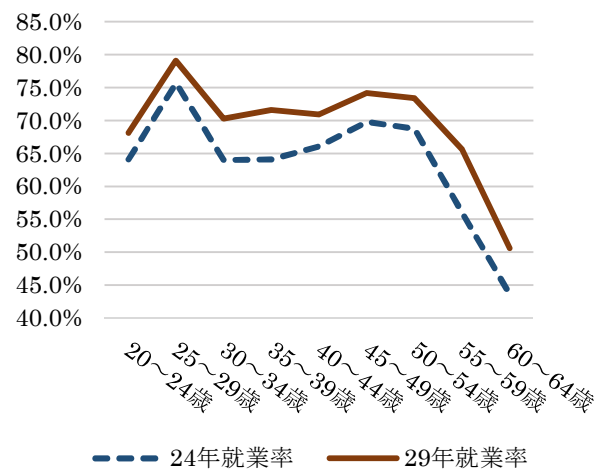
\*1 ハローワーク布施が発行する求人ナビ(2019年1月)より。ハローワーク布施管内は東大阪市、八尾市を含む。

## 2. 若者・女性の雇用促進について

図Ⅱ 年齢階層別にみた人口移動(東大阪市)\*2



図Ⅲ 女性就業率(大阪府)\*3



「図Ⅱ 年齢階層別にみた人口移動（東大阪市）」によると、本市においては「15歳から19歳」「20歳から24歳」の層で人口流入、「25歳から29歳」の層で人口流出が際立っている。これは、市内及び近隣地域に大学が多く立地していることによるもので、大学入学の際に本市へ転入し、卒業、就職により市外へ転出している学生が多数含まれているためと考えられる。

「図Ⅲ 女性就業率（大阪府）」によると、女性の就業率は、30代に入ると結婚、出産、育児などにより就業率が低下し、M字カーブを形成する。子育てが一段落する40代以降は上昇するが、十分には回復していない。しかしながら、平成24年と平成29年を比べると、M字カーブの底は上昇し、窪みが浅くなり、全体的に上方へシフトしていることが分かる。

このようなことから、本市の立地を活かし、流入してきた学生がモノづくり企業を始めとする市内企業へ就職することを促すことにより、市内企業の人材確保に資するとともに、ひいては、将来の人口減少に歯止めをかけることが期待できる。また、働きたいと思っているがきっかけをつかめないでいる潜在的求職者層の女性の背中を押し、就職するきっかけを提供することで、その活躍を図り、人手不足の解消につなげていく。

\*2 総務省統計局「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所推計の「東大阪市の生残率」より労働雇用政策室にて作成。平成22年の国勢調査の実人数に国立社会保障・人口問題研究所が推計している5年後の生残率をかけて算出した人口と、実際の5年後である平成27年の国勢調査の実人数との差で人口を算出。差がゼロであれば人口移動はないものとみなす。

\*3 平成24年・平成29年就業構造基本調査より。

### 3. 就活ファクトリー東大阪について

#### ①設立経過について

本市においては、今後予想される人口減少への対策が喫緊の課題となっており、その課題に対応するために「東大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。そこでは、人材確保に苦慮し、必要な労働力の確保ができないことから、廃業を余儀なくされる企業が出てきている中で、市内の大学生と中小企業の雇用マッチングのための施策や、子育てが一段落した母親を対象とした就労支援の取組が盛り込まれた。これを推進する施策として、平成29年7月、ヴェル・ノール布施4階のハローワーク布施と同一フロアに、学生等を含む若者や復職・再就職を目指す女性の就労を支援する施設として「就活ファクトリー東大阪」（以下、「ファクトリー」とする。）が設置された。

## ②事業内容について

39歳以下の若者と女性（女性は年齢不問）を対象に、モノづくり企業を始めとする市内企業への就職に結び付けるための支援を行う。

### 【キャリアカウンセリング】

就職や仕事についての不安や悩みについて、専門のキャリアカウンセラーによるアドバイスをを行っている。

### 【職業適性診断】

「自分の個性は何か」「適性と職業の関係」など、職業選択に備えて何をしたらよいかを考えるきっかけを提供している。

### 【各種セミナーの実施】

パソコンセミナー等の就職活動に役立つセミナーを多数開催している。

### 【就職活動の個別サポート】

面接時のお辞儀の仕方、受け答えの仕方、注意事項などをアドバイスする模擬面接、エントリーシート・履歴書・職務経歴書などの応募書類の添削指導、面接の予定がある相談者への面接特訓を実施している。

## 4. 就活ファクトリー東大阪の目標達成のために

ファクトリーでは、「市内企業へ就職者数100人を目指す」という目標を掲げている。目標を達成するためには、①「学生を含む若者と復職・再就職を目指す女性の登録者の増加」、②「利用者満足度の向上」、③「実態把握の強化」という3つの課題に取り組む必要があると考える。

### ①学生を含む若者と復職・再就職を目指す女性の登録者の増加

- ・ファクトリーの施設やイベントについては、市政日より、ファクトリーのウェブサイト等さまざまな手段にて広報しているが、利用者の認知経路を分析してみると、ハローワーク布施からの紹介が多数を占めており、学生の登録者が少ない。このことから、今後もハローワーク布施との連携を強化するとともに、学生の登録者を増やすためにも、大学のキャリアセンターとの連携強化やキャリア関連の授業への組み込みの働きかけなどが必要である。さらに、学生目線の情報発信を検討していく必要がある。
- ・同フロアにある布施子育て支援センター「ゆめっこ」との連携を強化し利便性の向上をはかることで、子育て中の女性も利用しやすい環境を整備し、それを周知することで、潜在的求職者の掘り起こしにつなげていく。

## ②利用者満足度の向上

- ・利用者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかなカウンセリングは、利用者から好評を得ており、今後もより一層の体制強化が必要である。
- ・多種多様なセミナーを行うことで、ファクトリーを利用するきっかけとなり、また、実際に就職が決まった利用者から、就職活動に役に立ったとの声が多数寄せられている。今後も様々なニーズに応えられるようにすることが必要である。

## ③実態把握の強化

利用者の実態把握は、さらなるニーズに応じていくために非常に重要で、定期的に電話、メール、郵送による一斉調査を実施する必要がある。

各委員からの意見は以下のとおり。

### ①学生を含む若者と復職・再就職を目指す女性の登録者の増加について

- ・学生の乗降の多い駅で集中的にファクトリーのPRをしてはどうか。
- ・対象者が施設の入り口を見ても分かりにくいので、対象者が若者と女性であることが視覚的にすぐに分かるようにしてはどうか。
- ・若者や学生と子育て中の女性の支援は、まったく違うアプローチをしていかなければならない。子育て中の女性に対してはアウトリーチ的なアプローチが必要。
- ・市内で育児をしている女性は家から近い職場を希望する傾向がみられることから、近所に子育てに理解のある企業があれば働きたいというニーズは絶対にあると思う。
- ・布施子育て支援センター「ゆめっこ」以外の子育て支援センターで子連れOKの出張セミナーやキャリアカウンセリングを実施すれば潜在的な求職者を掘り起こすことができる。
- ・子育て支援センターでの出張セミナーは、1ヶ所で試しに実施し、効果があれば拡大するという方法を取ることもできる。
- ・SNSでの周知にもう少し力を入れてはどうか。
- ・施設のウェブサイトを利用者の声を直接書き込めるようにしてはどうか。
- ・セミナー等のうたい文句には分かりやすいタイトルをつけ、対象者を明確にし、各対象者が安心して参加できるようにすることが大切。
- ・学生は自分にメリットが感じられないとセミナー等には参加しない。
- ・大学との連携は、重点校を絞りそこから拡大させるという長期的な視点で実施してはどうか。
- ・大学の授業の一部にファクトリーの事業を組み込んでもらうことを検討して

いるとのことだが、そこで何を学生にアピールするかが非常に大事。

## ②利用者満足度の向上について

キャリアカウンセリングは一人当たりの利用回数に上限を設けず、担当制によるきめ細やかな対応が利用者に好評であり、他施設にないサポートが実施できている。今後も利用者を丁寧にサポートするためには体制の強化が必要である。また、セミナーについても、様々なニーズに応えられるように多様なバリエーションで多数開催していくことが必要である。

## ③実態把握の強化について

利用者の状況を把握することは、今後のサービス内容を検討する上で非常に重要であり、継続する必要がある。

## 5. まとめ

ファクトリーの対象者は、39歳以下の若者及び女性（女性は年齢不問）ということだが、学生と子育て中及び子育て終了後の女性ではまったく違うアプローチが必要であり、各々の対象者に合わせたPR方法を検討していく必要があると考える。

子育て中の女性に関しては、自宅の近隣に子育てに理解のある企業があれば働きたいというニーズは十分にあり得る。しかし、セミナーやキャリアカウンセリングを受講するにも自宅から近い距離に施設がないと利用し難いため、ファクトリー側から出向いていくことが必要である。そこで、布施子育て支援センター「ゆめっこ」以外の子育て支援センターとも連携し、最初は試験的に1ヶ所からでも、子連れ参加可能なセミナーやカウンセリングの実施を検討していただきたい。その後、効果があれば拡大していくことで有効な連携を行うことができると考えられる。

学生に関しては、面接対策や履歴書の添削をしてもらえる等、ファクトリーに行くことで学生自身にメリットがあるということが分からないと足を運ばない。また、対象が学生であることが明確なものでないと参加しづらい傾向がみられる。そのため、セミナーやカウンセリングの実施の際は、対象が学生であることを明確に周知することが重要である。それと、学生はSNSの利用頻度が高く、そこをうまく活用すればファクトリーの魅力を口コミで拡散させることも可能である。併せて、ファクトリー利用者の声を閲覧しやすくする等、ウェブサイトの充実も必要である。

大学との連携については、まずは重点校を絞り、効果が上がれば徐々に拡大

させていく方策を考え得る。そうすることで、ファクトリー側はもちろん、大学側にとってもアピールポイントとなり、かかる連携が他大学にもスムーズに展開していく可能性がある。現在検討している大学等におけるキャリア関連の授業カリキュラムの一部に関わっていくことは、今後の事業の大きな展開へのきっかけになると考えられることから、成功させていただきたい。

ファクトリーでの主な事業であるキャリアカウンセリングについては、一人当たりの利用回数の上限を設けず、担当制による一貫した相談体制が利用者に好評であり、他施設にないサポートが実施できている。このきめ細やかなキャリアカウンセリングはファクトリーの最大のセールスポイントである。そのため、キャリアカウンセリング体制のさらなる充実が非常に重要である。同時に、セミナーについても、今後、対象者ごとに集客力のある内容を企画、実施するために、より一層の体制の充実、強化が必要である。

利用者の実態把握については、就職の可否や就職するまでの期間、就職先、雇用形態等を詳細に分析することが、より効果的なカウンセリングや、対象者ごとのニーズにあったセミナーの実施につなげていく上で不可欠である。今後も定期的な調査の実施が必要である。

最後に、「就活ファクトリー東大阪」は、市内外の求職者を市内企業への就職に結びつけるという、非常に重要な役割を担っている。今後も継続的により大きな目標を掲げ、長期的な視点で事業の改善を積み重ねていくことにより、さらに発展していくことを期待する。

## 参考

### 東大阪市中企業振興会議労働雇用部門会議開催経過

- 第1回労働雇用部門会議 平成30年10月19日（金）開催  
就活ファクトリー東大阪の事業内容と実績について
- 第2回労働雇用部門会議 平成30年12月26日（水）開催  
就活ファクトリー東大阪にて目標を達成するために
- 第3回労働雇用部門会議 平成31年1月22日（火）開催  
「市内企業の人材確保と若者・女性の就労支援について」最終報告書（案）  
について

東大阪府中小企業振興会議  
労働雇用部門会議委員名簿

平成31年1月現在

役職	氏名	役職等
部会長	衣笠葉子	近畿大学法学部 教授
委員	阿児加代子	オフィス・AKO 特定社会保険労務士
委員	田中聡一	近畿工業株式会社 代表取締役
委員	西松あゆみ	西松税理士・中小企業診断士事務所 所長
委員	檜尾めぐみ	NPO 法人発達障害サポートセンターピュア 理事長
委員	村田泰弘	布施公共職業安定所 所長

※順不同・敬称略